

一誌一句(受贈誌2・3月号他より)

米田透抄出

さしあたり地球はひとつ日向ぼこ

(藍)

花谷清

忘れ物防止メモ貼り小春かな

(春塘)

清水和代

落葉踏む過去と未来の交差点

(爽樹)

河瀬俊彦

ケーキ屋を覗きし二人春コート

(草炎)

久行保徳

煩惱ぞろぞろ列なす初詣

(山彦)

河村正浩

八十路越せば冬帽も亦必需品

(風の道)

大高霧海

始めより消ゆるつもり冬の虹

(湾)

和田洋文

喪正月指鉄砲で遺影撃つ

(青岬)

衣川次郎

どの墓も冬日向かひ過疎の村

(鳴)

加藤峰子

波どれも人へと寄り来初うらら

(運河)

谷口智行